

D-1

日本手話におけるいわゆる動詞句削除現象－SASS による CL 動詞に注目して*

上田由紀子 (山口大学)
ykueda@yamaguchi-u.ac.jp

内堀朝子 (東京大学)
uchibori@cce.t.u-tokyo.ac.jp

要旨

本発表では、日本手話 (以下 JSL) のいわゆる動詞句削除に見られる空目的語文の内、SASS CL の一種である tracing SASS と結合した CL 動詞 (以下 tSASS-CL 動詞) を含む文に注目し、動詞句構造を検討する。B&B(2004)は、ASL における CL 動詞が、CL の種類に応じて元の動詞の結合価を変え、それにより異なる動詞句構造を成すと提案しているが、本発表では、JSL の tSASS-CL 動詞では元の動詞の結合価に変化はないという事実を指摘し、tSASS-CL 主要部が作る構造は通常の動詞句より複雑なものであると分析する。これにより上田・内堀(2019)の観察した種類の動詞とは振る舞いが異なり、また RS の生起環境も異なる事実を説明する。さらに JSL の空目的語文には pro_{SOMETHING} を含む構造を取る場合があり、否定辞の存在が VP 修飾様態副詞相当表現の非手指形態素の波及に干渉すると示唆する。

1. はじめに

(1) 音声言語における削除文に関する先行研究

- ① 空代名詞分析: Kuroda (1965), Hoji (1985), Saito (1985)
- ② 動詞残留型動詞句削除分析: Otani and Whitman (1991), Funakoshi (2016)
- ③ 項削除分析: Oku (1998), Saito (2007), Sakamoto (2016, 2019), Landau (2020a, b)

(2) 【文脈】田中と佐藤は同じタクシー会社で働いているタクシードライバー。この会社では、 ドライバーが、自分の車を清掃することになっている。(上田・内堀 2019: (15))

_____TOP¹ _____MN 丁寧²
(3) ³/田中 昨日 車 丁寧 洗う PT_{田中}⁴/ ‘田中は昨日車を丁寧に洗った’

_____TOP _____MN 丁寧
(4) /佐藤 今日 丁寧 洗う PT_{佐藤}/ ‘佐藤は今日車を丁寧に洗った’

(5) (4)は sloppy reading (「佐藤の車」読み) を許す → (1)①だけでは説明できない。② or ③?

2. 日本手話 (以下, JSL) の目的語省略文に関する観察と分析: 上田・内堀 (2019)

(6) VP 様態副詞相当表現の非手指形態素の波及は、線状的隣接性条件および構造的階層性条件に従う。

(7) JSL の VP 様態副詞相当表現を含む動詞句以内に現れる空目的語は、以下の操作が関与している。

- a. 動詞が語彙動詞である場合: 項削除
- b. 動詞が代動詞の場合: 動詞句削除+ / やる / 挿入

* 本研究にご協力いただいた日本手話ネイティブサイナーの方々に、深く感謝申し上げます。本研究の前身となる研究には、慶應言語学コロキウム(2021年3月20日開催)の参加者の皆様から貴重なご意見をいただいた。本研究は JSPS 科研費 JP18K00576 (研究代表者: 上田由紀子) 及び JSPS 科研費 JP17K02691 (研究代表者: 内堀朝子) の助成を受けた。

¹ / _____TOP / は、話題化を表す非手指標識 (目の見開き、眉上げ、話題の終わりの頷き) を表す。

² / _____MN 丁寧 / は、‘丁寧に’に相当する非手指形態素 (目を細め、口角を引き締める) を表わす。

³ ここでは、JSL の表記としていわゆるラベル表記を用いる。 / / の中は全て手話表現を表わす。

⁴ PT は「指さし」を表し、JSL の文末に位置する指さし即ち「文末指さし」は、一文の終わりを示し、主語または話題要素 (時間表現を除く) を指示する (市田(2005), 鳥越(1991), 原・黒坂(2013), Uchibori (2016)等)。

(8) JSL の語彙動詞は、V-T 移動していない。

3. アメリカ手話 (以下, ASL) における CL 動詞を含む述語構造の分析: Benedicto and Brentani (以下, B&B) (2004)

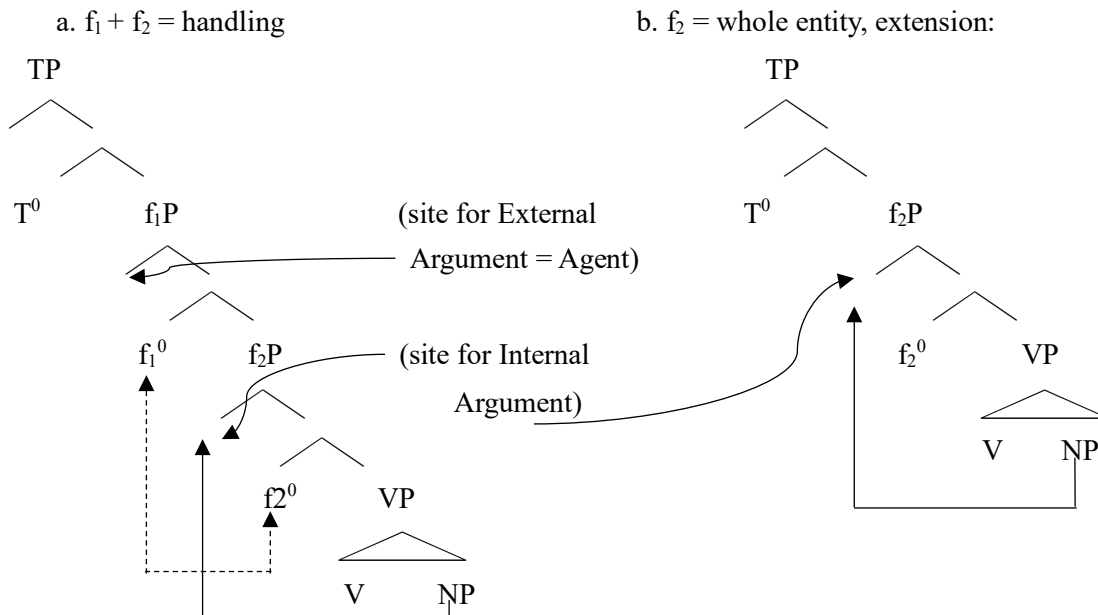
(9) 手話言語では「ものの動きや位置, 形や大きさなどを, 手の動きや位置, 形に置き換え (木村・市田 (2014:26))」た CL と呼ばれる要素が広く現れ, 動詞の一部に組み込まれて CL 動詞を形成することができる (Supalla 1982) .

- (10) a. “Whole entity (w/e) handshapes are those in which the shape of the hand refers to a whole entity ...”
- b. “Handling (hdlg) handshapes are those that refer to the way that objects or instruments are held or manipulated...”
- c. “Extension-and-surface ... handshapes are those in which the handshape refers to the physical properties of the object, not whole object. Several subtypes have been identified, according to perimeter (e.g., ‘L-L: square_2D_object’), width, or surface.” (B&B 2004: 750 (9a-c))

(11) B&B (2004:769 (33-34))

- a. INDEX BOOK C+MOVE ⇐ handling, transitive
S/he book obj_grab_{hdlg}+move_vertical-to-horizontal ‘S/he took the (standing) book and layed it down on its side’
- b. BOOK B+MOVE ⇐ whole entity, intr/unacc
book 2D_flat_obj_{w/e}+ move_vertical-to-horizontal ‘The (standing) book fell down on its side’

(12) slightly modified from B&B (2004:769 (35ab))



(13) SASS(Size and Shapes)⁵「とは表したいものの「形」「サイズ」に注目した CL 表現 ... 「平たい」「丸い」「細長い」「厚い」「小さい」などの形や大きさの情報が CL の形に反映 ...」 (松岡 (2015: 103))

(14) JSL の SASS を含む CL 動詞 (以下は, 松岡(2015: 104 (10b))に文末 PT を追加して自他交替を区別した例)

- a. /本 CL^並べる PT_本/ ‘本が並んでいる (Vint)’
- b. /本 CL^並べる PT₁/ ‘私が本を並べた (Vtr)’

(15) B&B (2004)は, ASL で CL の種類によって句構造が異なると分析. JSL にはそのまま適用できない.

4. JSL の tracing SASS-CL 動詞 (以下, tSASS-CL 動詞) を含む空目的語文

⁵ SASS CL は, B&B で採用している用語では extension CL に相当する.

(16) “SASSes [Size and Shape Specifiers] that involve movement of the fingers or hands to trace the outline of an object ... are called tracing SASSes ... Tracing SASSes ... behave quite differently from other classifiers, especially insofar as they do not combine with verbal elements ...” (Sandler and Lillo-Martin 2006: 81 fn. 4)

_____TOP
 (17) /田中 三角 書く⁶ PT_{田中}/ ‘田中は三角を書く’

_____TOP
 (18) /田中 CL△^書く PT_{田中}/ ‘田中は三角を書く’

_____TOP
 (19) /田中 (三角) CL△^書く PT_{田中}/ ‘田中は三角を書く’

(20) 【文脈】田中と佐藤は学校の友達。今月の美術の時間では、みんなポスターのデザインを描いている。クラスメイト A・B が、田中と佐藤（目の前に不在）の話をしている。

_____TOP _____NM 丁寧
 (21) A: /田中 昨日 丁寧 三角 書く PT_{田中}/ ‘田中は昨日丁寧に三角を書いた’

_____TOP _____丁寧 _____NEG
 (22) B: /佐藤 PT_{佐藤} 今日 書く ない /
 a. ✓意味 1 = ‘佐藤は今日三角を丁寧に書かなかった’
 b. *意味 2 = ‘佐藤は今日三角を書かなかった’

(_____)TOP
 (23) (21)→(22)→✓(23) B: / (PT_{佐藤}) 今日 適当 書く / ‘佐藤は今日 (三角を) 適当に書いた’

(_____)TOP
 (24) (21)→(22)→*(24) B: / (PT_{佐藤}) 今日 CL○^書く / ‘佐藤は今日丸を書いた’

_____TOP _____NEG
 (25) B: /佐藤 PT_{佐藤} 今日 書く ない /
 a. *意味 1 = ‘佐藤は今日三角を丁寧に書かなかった’
 b. ✓意味 2 = ‘佐藤は今日三角を書かなかった’

(_____)TOP
 (26) (21)→(25b)→*(26) B: / (PT_{佐藤}) 今日 適当 書く / ‘佐藤は今日 (三角を) 適当に書いた’

(_____)TOP
 (27) (21)→(25b)→✓(27) B: / (PT_{佐藤}) 今日 CL○^書く / ‘佐藤は今日丸を書いた’

(28) 先行文=動詞 / (三角) 書く / ; 省略文=動詞 / 書く / → 項削除

_____TOP _____NEG
 (29) B: /佐藤 PT_{佐藤} 今日 やる - ない /
 a. ✓意味 1 = ‘佐藤は今日三角を丁寧に書かなかった’ (‘丁寧に’の意味が含まれる)

⁶ /書く/を handling CL を含む CL 動詞とする見方もあるかもしれないが、ここでは、/食べる/に handling CL 動詞の場合とそうでない場合があるように、/書く/も CL を含まない場合があると考え、動詞としてのみ表示する。

b. ✓意味2 = ‘佐藤は今日三角を書かなかった’ (‘丁寧に’の意味が含まれない)

(____) TOP

(30) (21)→(29a)→✓(30)B: / (PT_{佐藤}) 今日 適当 書く / ‘佐藤は今日 (三角を) 適当に書いた’

(____) TOP

(31) (21)→(29b)→✓(31)B: / (PT_{佐藤}) 今日 CL○^書く / ‘佐藤は今日丸を書いた’

(32) 先行文=動詞 / (三角) 書く / ; 省略文=代動詞 / やる / → 動詞句削除

(____) _____ RS

____ TOP _____ NM 丁寧

(33) A: / 田中 昨日 丁寧に CL△^書く PT_{田中} / ‘田中は昨日丁寧に三角を書いた’

____ TOP _____ NEG

(34) B: / 佐藤 PT_{佐藤} 今日 やる - ない /

a. ✓意味1 = ‘佐藤は今日三角を丁寧に書かなかった’ (‘丁寧に’の意味が含まれる)

b. ✓意味2 = ‘佐藤は今日三角を書かなかった’ (‘丁寧に’の意味が含まれない)

(____) TOP

(35) (33)→(34a)→✓(35)B: / (PT_{佐藤}) 今日 適当 書く / ‘佐藤は今日 (三角を) 適当に書いた’

(____) TOP

(36) (33)→(34b)→✓(36)B: / (PT_{佐藤}) 今日 CL○^書く / ‘佐藤は今日丸を書いた’

(37) 先行文=tSASS-CL 動詞 / CL△^書く / ; 省略文=代動詞 / やる / → 動詞句削除

(____) _____ RS

____ TOP _____ NM 丁寧

(38) A: / 田中 昨日 丁寧に CL△^書く PT_{田中} / (= (33) : 先行文は同じ)

‘田中は昨日丁寧に三角を書いた’

____ TOP _____ NEG

(39) B: / 佐藤 PT_{佐藤} 今日 書く ない /

a. *意味1 = ‘佐藤は今日三角を丁寧に書かなかった’

b. *意味2 = ‘佐藤は今日三角を書かなかった’

c. ✓意味3 = ‘佐藤は今日何も書かなかった’

(____) TOP

(40) (38)→(39)→*(40) B: / (PT_{佐藤}) 今日 適当 書く / ‘佐藤は今日 (三角を) 適当に書いた’

(____) TOP

(41) (38)→(39)→*(41) B: / (PT_{佐藤}) 今日 適当 書く / ‘佐藤は今日 (何かを) 適当に書いた’

(____) TOP

(42) (38)→(39)→*(42) B: / (PT_{佐藤}) 今日 CL○^書く / ‘佐藤は今日丸を書いた’

(43) 先行文=tSASS-CL 動詞 / CL△^書く / ; 省略文=動詞 / 書く / → (39c)の解釈は、動詞句削除でも

項削除でも説明できない。

(44) (39)の省略文は、先行文と同じ構造の一部を省略して派生するものではない。つまり、先行文に存在する JSL の tSASS-CL 動詞は、省略文の動詞のそれとは異なる句構造を持っている。

(45) tSASS-CL 動詞: [v*P [αP 三角 [RP t_{三角} [RP t_{三角} t_R]] <書く-CL△>] v*]

(46) [v*P [RP 三角 [RP t_{三角} 書く_R]] v*]

(47) RS (role shift): “... the signer presents another’s words, thoughts, or “point of view.”” (Sandler and Lillo-Martin (2006: 379)

(48) 「...引用型のシフトは節レベルの現象...であるが、行為型のシフトは動詞レベルの現象...」市田(2005: 96)

(49) 行動 RS は目的語を含まない。(上田・内堀(2021))

(50) 内堀(2018) の提案では、行動 RS は v*[+RS]による動作主の人称変化によって引き起こされ、その c-統御領域に標示される。これに従うと、目的語は v*の c-統御領域の外、ここでは v*P Spec に存在すると仮定される。

(51) 行動 RS は、アスペクト要素や否定辞を含めることができない。(川崎(2021))

_____ RS
_____ NM 丁寧

_____ TOP

(52) */田中 速く 三角 丁寧 書く PT_{田中}/ ‘田中は三角を素早く丁寧に書く’

(53) (52)の派生可能性は、(54)と(56)の二通り。

_____ RS
_____ NM 丁寧

_____ TOP

(54) */田中 [v*P 速く [v*P 三角 [v*P 丁寧 [v*P t_{田中} [RP t_{三角} [RP t_{三角} 書く_R]]] v*[+RS]]]]] PT_{田中}/ =*(52)

(55) 派生可能性(54)：目的語は v*P にシフト。 /丁寧/ が v*P に付加して _____NM 丁寧が動詞に波及し、v*[+RS] の c 統御領域の外に位置しているにもかかわらず、RS が生じているため非文法的。

_____ RS
_____ NM 丁寧

_____ TOP

(56) */田中 [v*P 速く [v*P 三角 [RP 丁寧 [v*P t_{田中} [RP t_{三角} [RP t_{三角} 書く_R]]] v*[+RS]]]]] PT_{田中}/ =*(52)

(57) 派生可能性(56)：目的語は v*P にシフト。 /丁寧/ が RP に付加して _____NM 丁寧が動詞に波及し、v*[+RS] の c 統御領域の中に位置しているので RS の範囲には問題ない。

(58) VP 様態修飾副詞相当表現は、RP と併合できない (RP を修飾できない)。

_____ TOP _____ NM 丁寧

(59) /田中 [TP/v*P 時々 [v*P 速く [v*P 三角 [v*P 丁寧 [v*P t_{田中} [RP t_{三角} [RP t_{三角} 書く_R]]] v*[-RS]]]]]]] PT_{田中}/ ←→*(54)

_____ RS
_____ NM 丁寧

_____ TOP

(60) tSASS-CL 動詞 /田中 速く 三角 丁寧 CL△^書く PT_{田中}/ ←→*(52)

_____RS

_____NM 丁寧

_____TOP

(61) /田中 [v*P 速く [v*P 三角 [v*P t 田中 [αP 丁寧 [RP t 三角 [RP t 三角 tR]] <書く-CL△>]] v* [+RS]>]] PT 田中 / = (60)

(62) 派生(61)：目的語は v*P にシフト。 /丁寧/ が αP に付加し、v* [+RS] の c 統御領域の中に位置しているので、RS の範囲には問題なく、_____NM 丁寧の動詞への波及も可能。

(_____RS) _____RS

_____NM 丁寧

_____TOP

(63) /田中 時々 速く 三角 丁寧 CL△^書く PT 田中 / ‘田中は時々素早く三角を書く’

(64) (63)で /丁寧/ に RS の範囲が及んでいない時の派生(65)，及んでいる時の派生(67)。

_____RS

_____NM 丁寧

_____TOP

(65) /田中 [v*P 時々 [v*P 速く [v*P 三角 [v*P 丁寧 [v*P t 田中 [αP t 三角 [RP t 三角 [RP t 三角 tR]] <書く-CL△>]] v* [+RS]>]]]] PT 田中 /

(66) 派生(65)：目的語は v*P にシフト。 /丁寧/ が v*P に付加。_____NM 丁寧の動詞への波及は問題ない。v* [+RS] の c 統御領域の外に位置しているため、 /丁寧/ に RS の範囲が及ばない。

_____RS

_____NM 丁寧

_____TOP

(67) /田中 [v*P 時々 [v*P 速く [v*P 三角 [v*P t 田中 [αP 丁寧 [αP t 三角 [RP t 三角 [RP t 三角 tR]] <書く-CL△>]] v* [+RS]>]]]] PT 田中 /

(68) 派生(67)： /丁寧/ が αP に付加。_____NM 丁寧の動詞への波及は問題ない。v* [+RS] の c 統御領域の中に位置しているため、 /丁寧/ に RS の範囲が及ぶ。

(69) 上田・内堀(2019)では、 /車/ を目的語とする /洗う/ (例文 3-4) を動詞と分析しているが、VP 様態副詞相当表現の非手指形態素と RS との共起関係が、もし /CL△^書く/ と同様であれば、ここでの分析から、例文(3-4)のような /洗う/ は CL 動詞であることが示唆される。ただし、形態的特徴からすると、この /洗う/ は tSASS-CL 動詞ではなく、handling CL 動詞と見なせるので、(60)と同じ構造を作るかどうかについては更なる検討を要する。

(70) ここでは、RS のもとで動詞に_____NM 丁寧が波及していると簡略に記述したが、RS なしの場合の同様の波及と異なり、v* [+RS] の要求する動作主の人称変化に従った、VP 様態副詞相当表現の形態統語的な変化を伴う現象となっている可能性が高く、今後の詳しい観察および RS の更なる研究が必要である。

_____TOP

_____NEG

(71) B: /佐藤 PT 佐藤 今日 [VP proSOMETHING 書く] ない / (= (39); 先行文(38) tSASS-CL 動詞)

‘佐藤は今日何も書かなかった’

_____TOP

_____NM 丁寧 _____NEG

(72) B:* /佐藤 PT 佐藤 今日 [VP proSOMETHING 書く] ない / (先行文(38) tSASS-CL 動詞)

‘佐藤は今日何も丁寧に書かなかった’

(73) 「何も書かない」は、not ... any の解釈。→ 空目的語が proSOMETHING の可能性。

(74) 【文脈】今日の美術の時間の最初に、先生が「今日は下手でもいいから書きなさい」「白紙は許しません」と言った。自分と佐藤はクラスメイト。自分はもう書き終わった。佐藤の手元は見えないけど…

_____TOP
(75) / 佐藤 何 書く PT_{佐藤} / '佐藤も何か書いた'

(76) (75)の / 何 / '何か/ something' は, (71)の空目的語 pro_{SOMETHING} の音形がある形に相当する。

_____TOP _____~~×~~_____NM_{丁寧} _____NEG
(77) B: / 佐藤 今日 [丁寧 pro_{SOMETHING} 書く] ない / =*(72)

(78) *(72)は / _____NM_{丁寧} / は動詞に波及できない場合 → pro_{SOMETHING} が波及を阻止? → 音形の有無?

_____TOP _____OK_____MN_{丁寧}
(79) / 田中 昨日 車 [丁寧 t_車 洗う] PT_{田中} / '田中は昨日車を丁寧に洗った'

_____TOP _____OK_____MN_{丁寧} _____NEG
(80) B: / 佐藤 PT_{佐藤} 今日 [丁寧 pro_{三角} 書く] ない / '佐藤は今日三角を丁寧に書かなかった'
(先行文(38) tSASS-CL 動詞)

_____TOP _____OK_____NM_{丁寧}
(81) B: / 佐藤 今日 [丁寧 pro_{SOMETHING} 書く] / '佐藤も今日何かを丁寧に書いた' (先行文(38) tSASS-CL 動詞)

(82) / _____NM_{丁寧} / の波及は, / pro_{SOMETHING} / と / ない / の negative concord/agreement によって阻止?

4. おわりに

参考文献

- Benedicto, Elena and Diane Brentari (2004) "Where did all the arguments go?: Argument-changing properties of Classifiers in ASL," *NLLT* 22: 743-810. / Funakoshi, Kenshi (2016) "Verb-stranding verb phrase ellipsis in Japanese," *JEAL* 25: 2113-2142. / Hoji, Hajime (1985) Logical form constraints and configurational structures in Japanese. Doctoral dissertation, University Washington, Seattle, USA. / Kuroda, Shigeyuki (1965) Generative Grammatical studies in the Japanese language. Doctoral dissertation, MIT, Cambridge, USA. / Landau, Idan (2020a) "Constraining head-stranding ellipsis," *LI* 51: 281-318. / Landau, Idan (2020b) "On the nonexistence of verb-stranding VP-ellipsis," *LI* 51: 341-365. / Oku, Satoshi (1998) *A theory of selection and reconstruction in the Minimalist Program*. Doctoral dissertation, University of Connecticut, Storrs, USA. / Otani, Kazuyo and John Whitman (1991) "V-raising and VP-ellipsis," *LI* 22: 345-358. / Saito, Mamoru (2007) "Notes on East Asian agreement ellipsis," *Language Research* 43: 203-227. / Sakamoto, Yuta (2016) Phases and argument ellipsis in Japanese. *JEAL* 25: 243-274. / Sakamoto, Yuta (2019) Overtly empty but covertly complex. *LI* 50: 105-136. / Sandler, Wendy and Diane Lillo-Martin (2006) *Sign language and linguistic universals*. Cambridge, UK: Cambridge University Press. / Supalla, Ted (1982) *Structure and Acquisition of Verb of Motion and Location in American Sign Language*. Doctoral dissertation, University of California, San Diego. / Uchibori, Asako (2016) "What does clause-final finger pointing refer to in JSL?," paper presented at *SSL* 5. / 原大介・黒坂美智代 (2013) 「日本手話の文末指さしが指し示すものは何か」. 日本手話学会第39回大会口頭発表. / 市田泰弘 (2005) 「手話の言語学(7)話し手の身体と視線—日本手話の文法(3)「動詞の一致(再考)と指示対象のシフト」. 『月刊言語』 34-7: 92-99. 大修館書店. / 川崎典子 (2021) 「視線が作る時空間に産み出される事象—ロールシフトのシンタククスと意味」. 慶應言語学コロキウム (3月21日). / 木村晴美・市田泰弘 (2014) 『はじめての手話 初歩からやさしく学べる手話の本 (改訂新版)』. 東京: 生活書院. / 松岡和美 (2015) 『日本手話で学ぶ手話言語学の基礎』. 東京: くろしお出版. / 鳥越隆士 (1991) 「日本手話の文末の位置について」. 『手話学研究』 12: 15-29. / 内堀朝子 (2018) 「ラベルに寄与する素性について—手話言語研究から」. 慶應言語学コロキウム (3月18日). / 上田由紀子・内堀朝子 (2019) 「日本手話の非手指副詞、動詞、目的語の語順について」. 日本言語学会第158回大会口頭発表. / 上田由紀子・内堀朝子 (2021) 「日本手話の空目的語—非手指表現の観察と分析」. 日本英文学会第93回大会第6部門シンポジウム発表.